公益社団法人 福岡県人権研究所									
"りべらしおん" No. 37 (2023/2/22)									

I <報告> フィールドワーク

2月17日(金)「筑後地区私学・人権同和教育委員会」研修会(11名参加)のフィールドワークを糸島市で行いました。糸島市人権・同和教育研究会「ムラ」の文化研究部会副部会長西原茂徳さん、同事務局長山田泰生さんに案内してもらいました。

午前は、西原さんに江戸時代から明治時代にかけてハンセン病治療薬を販売していた蓮照寺についてと薬品製造に至った由来などを説明してもらいました。当時の薬品類や薬品製造用の乳鉢、薬品販売の案内看板、宣伝用チラシ、薬を買いに来られた方の顔が見えないように薬とお金のやり取りができるぐらいの幅と高さになっている「スライド式小窓」などを、実際に見ることができました。また、お寺と人権にかかわる話を前住職の原田さんにしていただきました。

午後は、糸島市志摩交流プラザで山田さんに、筑前竹槍一揆の概要と糸島市納富家の柱に残る傷跡など、プレゼンを使って説明してもらいました。次に「須賀神社」へ行きました。この神社の氏子さんたちは、解放令後も根強い差別意識が残っている中で、1924(大正 13)年神社の総代会が被差別地区の人を氏子として迎え入れることを決定しました。被差別地区の人たちが、その喜びと感謝の気持ちで寄贈した神社の塀は、現在道路拡張のため残っていませんが、塀があった場所などを見学しました。最後に太平洋戦争末期、本土決戦に備えた最大の秘匿基地「海軍航空隊玄海基地跡」を見学し終了しました。

Ⅱお知らせ

(1) ヒューマンアルカディア「グリーンブック」無料上映会

日時:2月23日(木·祝)①11:00~13:10 日本語字幕版上映

②13:30~15:40 日本語吹き替え版上映

場所:クロバープラザ1階 クローバーホール

(春日市原町3丁目1-7 JR 春日駅前)

主催・問合せ: (公財) 福岡県人権啓発情報センター TEL092-584-1271

(2) 第4回ジェンダー部会 森崎和江『からゆきさん』を読む 学習会

日時:2月26日(日)14:00~ ZOOM 同時開催

講師:うりう ひさこさん (園田久子 本研究所副理事長)

会場:福岡県ボランティアセンター会議室(福岡県吉塚合同庁舎5階)

◇事前予約制です。締切 2023 年 2 月 24 日(金)

問合せ: (電話) 092-645-0388/0387 (FAX) 担当:田中

- (3) 2月25日(土)の啓発部会は中止です。
 - 3月は、25日土曜日、14:00から田川市民会館で行います。
- (4) 福岡市立香椎浜小学校で「第31回三・一文化祭」開催

多文化交流マダン(広場)三・一文化祭 (「三・一文化祭実行委員会主催」) が、4 年ぶりの開催です。会場は前回と変わり福岡市立香椎浜小学校体育館です。

日時:3月26日(日) 11時開場 12時~16時

場所:福岡市立香椎浜小学校 体育館

内容:楽器体験ワークショップ、民俗あそび体験(ボナ・皿回し)、ソゴチュム(小鼓舞)など

*「食文化コーナー」は開催しません。

*詳細は研究所フエイスブック参照

問合せ:事務局長 朴康秀(パク・カンス) さん TEL/FAX 092-571-1131

Eメール festa191931@yahoo.co.jp

<*研究所主催の各部会・講座の開催等の詳細については、ホームページをご覧ください。>

☆ホームページ

https://www.f-jinken.com

〔人権研究所の出版物〕

新谷恭明『校則なんて大嫌い!一学校文化史のおきみやげー』

久米祐子『子どもから障害児を「分けない教育」の戦後史インクルーシブ教育とは一』

木村政伸『教室の灯は希望の灯 自主夜間中学「福岡・よみかき教室」の二五年 』

関 儀久『感染症と部落問題 近代都市のコレラ体験』

森山沾一・和智俊幸・横田司・坂田美穂『殉義の星と輝かん~百年生きる「解放歌」と柴田 啓蔵』

部落史研究部会/史・資料プロジェクト『2020/2021 史・資料プロジェクト報告集「身分」 を考える』

木村かよ子「ポストカード」5種5枚セット500円

☆お求めは

https://books-f-jinken.raku-uru.jp/

☆ニュースのバックナンバーは下記研究所公式サイトでご覧いただけます。

http://www.f-jinken.com/newsliberacion.html

◇みなさんの投稿お待ちしています。

ニュース担当:峰

<u>info@f-jinken.com(登録解除はこちら</u>から)